

八鹿病院

YOKA HOSPITAL

NEWS



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

YOKA HOSPITAL **医療**

産婦人科 — お産から婦人科疾患まで 女性の健康を守る —

- > がんばってます研修医
- > 皆様の窓口・医療と地域の橋渡し役 地域医療連携室です！
- > 八鹿病院トピックス 院内七夕コンサート 他
- > 教えて！健康コラム「ネズミの通り道にご用心！」
- > 看護部だより「大切な命と向き合う勇気、行動に繋がる講習へ」
- > インフォメーション 病床数の削減について 他

2018

10
月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



産婦人科

お産から婦人科疾患まで
女性の健康を守る



当科では、今年度より常勤医2名・非常勤医2名の体制で診療に当たっています。また、従来より、正常分娩例を対象に、院内助産制度を全国でも先駆けて導入し、平成20年9月以来約1600名の分娩を受け入れてきました。今後は、里帰り分娩、初産婦の分娩、そして不妊治療にも積極的に取り組んでいきたいと考えています。また当科はお産だけでなく、婦人科領域における様々な疾患（子宮筋腫、子宮脱、更年期障害などの婦人科病）への対応も新たに開始する予定です。

当院でのお産について

当院では、初産婦・経産婦問わずお産が可能です。ただし、次の条件に全てあてはまる方が対象となります。

- 単胎（胎児が1人）の方
- 合併症がなく妊娠分娩中の危険度が低いと判断される方
- 院内助産制度にご同意いただける方

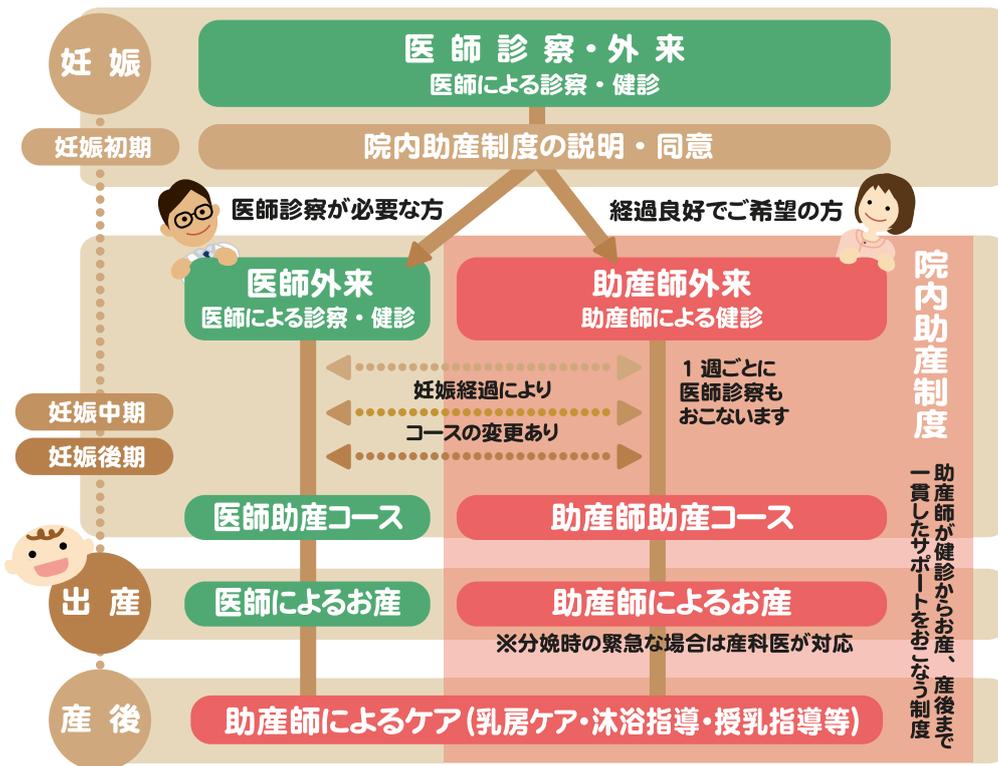
当院での里帰り分娩を希望される方は、一度ご相談ください。

初産婦さんのお産への対応

お産は、産婦人科医を何年やってもなかなか経過を予測する事が出来ません。初産婦さんは特にそうです。私たち産婦人科スタッフは、出来るだけ地域の皆さんの期待に応えることと、安全追求する事を二本柱と考えています。そこを踏まえて、初産婦さんのお産に向き合いたいと思います。里帰り出産の人も含めて、当院での分娩が可能かどうか、お気軽に相談してください。

当院での妊婦検診からお産のながれ

妊娠後に医師診察を受けた後、初期の段階で経過が良好な妊婦さんの場合、院内助産制度の説明、同意を得て医師外来か助産師外来かを決定します。助産師外来へ移行された妊婦さんには助産師による健診・医師外来を週がわりで受けていただきます。妊娠後期（36週頃）にむけて、経過によって医師立会いのもとお産を行う「医師助産コース」か助産師中心でお産を行う「助産師助産コース」の最終決定を行ない、お産にむけて調整していきます。





婦人科の病気

症状にお心あたりのある方は
受診を。ぜひご相談ください。

子宮筋腫

主に、閉経前の女性にとつて問題となる病気です。月経量が多い、月経痛がひどい、下腹部が出てきたというのがよくみられる症状です。

年齢によつては必ずしも手術療法が選択されるわけではないので、そのような症状に思い当たる人は一度ご相談下さい。我慢して様子を見ていると、重症貧血や下腹部痛などを引き起こすことがあります。

子宮脱

高齢の女性に特にみられる症状です。骨盤の筋肉が緩むことによつて子宮が下がりがり、ひどくなると直腸、膀胱も下がってきます。原因としては加齢に伴う筋力の低下や、多数回の出産による靱帯の緩みなどが挙げられます。外科的手術や膈内リングの挿入で子宮が下がってくることを防ぐ治療がなされます。

更年期障害

これは閉経前後に生じる女性特有の不定愁訴を指します。イライラ、だるさ、のぼせなどの症状が現れます。治療としては、ホルモン補填療法、漢方療法などが選択されます。命にかかわる病気ではありませんが、症状がひどい人は生活の質を上げるために治療を考えてみては如何でしょうか。

その他の婦人科疾患

産婦人科は、子宮、卵巣に発生する疾患すべてを対象としており、診断、治療内容は多岐にわたります。女性の方で下腹部、特に臍より下に症状がある方は一度、産婦人科受診を検討してみてください。恥ずかしさから、なかなか受診できない方には女性医師の対応も可能です。若い女性の卵巣腫瘍は案外多いもので、放置すると不妊症の原因になる事があります。

当院では、こんなことにも取り組んでいます！

助産師による女性のための相談窓口「助産師外来」

何かひとりで悩んでいませんか？当院では女性のための相談窓口として助産師外来を行っております。助産師による妊婦検診はもちろん、妊婦さん、産婦さん、褥婦さんの悩み、育児の事、思春期、更年期、不妊などの相談に無料で助産師がお答えします。(乳房マッサージは有料) お気軽にご相談ください。



女性が安心して笑顔でいられるよう
私たちがサポートします！

おなかの赤ちゃんが鮮明にわかる！ 「3D4Dエコー写真」

当科で検診時にお渡しできるエコー写真は従来のモノクロ写真に加え、より表情が鮮明にわかる3D4D写真もあります。ご希望の方は事前にお声かけください。

※赤ちゃんの胎位によりおとりできない場合もあります。



がんばっています

研修医

八鹿病院の研修医として、
経験を積み日々勉強中です。
よろしくおねがいします！



現在、当院では3名の研修医が指導医のもと、日々現場で患者さんと接しながら医療技術の習得に精進しております。今回は、そんな3人の生の声をご紹介しますので、地域の皆様は温かくご支援のほど宜しくお願いいたします。

2年次



出身地／兵庫県朝来市
趣味／アウトドア

しなの けんたろう
仕名野 堅太郎 医師

現在どんな研修をしていますか？

整形外科で予診（主治医の先生の診察前にあらかじめ症状の訴えや病歴等の聴き取りをすること）をとったりしています。

八鹿病院の印象は？

新築されてからは、八鹿のシンボルのような立ち位置になったように思います。また、働いている人一人ひとりが優しくとても馴染みやすい環境です。

今後専攻したい科は？

まだ決定していませんが、現在はいろいろな診療科でノウハウを教えていただいております。

地域の皆様へ

生まれ・育ち共に但馬地方であり、思い入れの強い病院です。そんな地域に帰ってきて少しくもこの地域の方々と一緒に但馬を盛り上げられたらなと思いますので、よろしくおねがいします。

1年次



出身地／兵庫県姫路市
趣味／テニス・旅行・写真

やまもと みさお
山本 節 医師

現在どんな研修をしていますか？

内科で入院される患者さんを指導医の先生方と共に診させていただき、治療や必要な検査等で不明なことは常に相談しております。まだ慣れないことが多く、看護師や薬剤師、リハビリなど多くの職種にサポートしてもらっています。

八鹿病院の印象は？

建物として洗練されたデザインで、病院内の雰囲気はとても落ち着く感じがします。患者さんと我々医療従事者との関係性もとても良い病院という印象を受けています。

今後専攻したい領域は？

現在はつきりとした科は決まっていますが、外科へ進みたいと思います。

地域の皆様へ

未熟者ではございますが、日々精進して少しでも皆さまに貢献できるように頑張りますので何卒よろしくおねがい申し上げます。

1年次



出身地／千葉県
趣味／美味しいスイーツ巡り

くさかへ あすか
草壁 明日香 医師

現在どんな研修をしていますか？

外科で研修しています。内科とはまた違った視点から患者さんへアプローチする手法を学んでいます。

八鹿病院の印象は？

医師だけでなく、職員の方々全員が優しく気にかけてくれるのでいつもありがたさを感じています。非常に働きやすい職場です。関東の出身なので皆さんが話される関西弁がまだ新鮮です。

今後専攻したい科は？

内分泌内科に興味があります。

地域の皆さまへ

初めまして。まだまだ働き始めたばかりですが、患者さんの体の苦痛、心の苦痛を取り除くお手伝いができるよう、これから精一杯努力して参ります。これからよろしくおねがいします。

皆様の窓口・医療と地域の橋渡し役 地域医療連携室です!

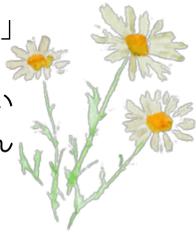


地域医療連携室前に相談スペースを設置

より身近に相談しやすくなることを目的に、8月より1階地域医療連携室前に相談スペースを設置しました。

今年4月より、地域医療課が「地域医療連携室」として生まれ変わりました。

病院と地域の垣根をなくして、相談しやすい地域医療連携室としてスタッフ一同で取り組んでまいりますので、安心してご相談ください。



看護師増員で
支援体制を
強化しました

入退院支援

患者さんがスムーズに入退院できるよう、看護師が相談や入院調整など支援を行います

- 専任の看護師が、入院予定となった患者さんから入院前にお話を伺い、入院に伴うさまざまな不安を軽減することで、安心してスムーズに入院していただくための相談支援を行います。
- 入院中の困りごとや退院後のご心配があるときは、医師をはじめ多職種で協働して解決する為、職種間の連絡調整を行います。
- 患者さんが入院する病棟スタッフとの連絡調整や、退院時期の調整を関係職種と連携して行います。

入院される患者さんご家族の方は、治療への不安、入院生活への不安や緊張、退院後の生活への不安など、多くの心配ごを抱えておられます。

地域医療連携室の看護師は、入院に伴うこれらの不安を軽減し、何か困りごとがあれば、多職種で協働して解決していくための支援を行っています。



相談支援

医療・介護・福祉のご相談を伺い、問題の解決策を一緒に考えます

社会福祉士が、患者さんやご家族からの医療・介護・福祉に関するご相談を伺い、適切に医療を受け、安心して療養に専念できるように患者さんやご家族の抱える次のような問題の解決を一緒に考えます。

こんな心配ごとはありませんか?

- 退院後の生活・仕事の不安
- 住環境や介護用品の相談
- 身体障害者手帳の申請
- 在宅での介護の不安
- 医療費の支払いに関する心配
- 介護保険の利用について
- 各医療制度・助成制度について

介護や治療に対する不安や負担が軽くなるよう、さまざまな制度や仕組みの情報を集め、患者さん・ご家族にお伝えします。

また、退院に向けてサービスや必要物品の準備、気持ちの準備など、安心して退院していただけるよう担当のケアマネジャーや看護師も一緒に相談します。入院中は担当の医療ソーシャルワーカーが継続してご相談していただくことができます。



医療連携

患者さんに安心して診察を受けていただけるよう、かかりつけの先生との繋ぎ役をしています

主な仕事として次のようなことをしています。

- かかりつけ医から八鹿病院への紹介の診療予約調整
- 八鹿病院から他の医療機関への紹介の診療予約調整
- 紹介元のかかりつけの先生へ患者さんの来院・入院・退院等の報告

その他にも、八鹿病院の“今”をタイムリーにお知らせするため、毎月1回「地域医療連携室だより」を発行し、地域の医療機関の先生方へお届けしたりと、皆様には直接見えないところで安心を支えています。



私たちが地域医療連携室スタッフです!

健康
医師

老人保健施設に医師が着任
糸川 渉いとかわ わたる医師よりご挨拶



この4月より、老人保健施設の常勤の嘱託医師として着任しました。当施設は、看護師・理学療法士・作業療法士・管理栄養士・介護士・社会福祉士など経験豊富な専門のスタッフを揃え、さまざまな病気の治療を経て安定期にある方々が安心して在宅生活を送れるよう、運動機能や日常生活動作の改善をはじめ、生活の質全体の向上を目指して日々努力を続けています。また、公立八鹿病院の併設施設として、急変時の対応も可能ですので、安心して施設での療養生活を送っていただくことができます。退院後の生活のご不安や、ご家族・介護者の方の一時的な都合等での療養生活にお困りの際は、ぜひ当老人保健施設までご相談ください。

受賞!

八鹿病院老人保健施設
「兵庫県優良給食施設知事表彰」受賞

兵庫県では、健康づくりの推進及び向上に、特に優れた功績を収めた施設に対する表彰制度があり、平成30年度の優良給食施設として当院の老人保健施設が知事表彰を受賞しました。老人保健施設では、老健専従の管理栄養士が入所者の方の栄養状態や嚥下機能を把握した上で、可能な限りお一人おひとりの食への思いに沿った食事を提供し、きめ細かな栄養管理ができるよう、日々創意工夫してまいりました。今回の表彰を励みに、より一層利用者の方々に満足していただけるよう努力してまいります。



7/13

院内七夕コンサート開催

毎年恒例の院内七夕コンサートが開催されました。公立八鹿病院看護学校生(第27期生)による合唱、香美町在住の安田茂さん・当院音楽療法士の竹末千賀子によるデュオ「ひだまり」のオカリナ&ピアノ演奏、そして最後は「上を向いて歩こう」「瀬戸の花嫁」「七夕さま」など4曲を、患者さんを含め会場の皆さん全員と一緒に歌いました。患者さん、老健入所者の皆さんをはじめ、たくさんの方にご来場いただき、盛況のうちに終了することができました。



7/31~

ふれあい看護体験

ふれあい看護体験は、今年度も但馬地域の高校生を対象に、7月31日からの3日間、102名の参加で実施しました。体験職種は看護師、リハビリ、薬剤師、診療放射線技師、栄養士、臨床検査技師、臨床工学技士と多くの職種体験を終えることが出来ました。体験後には、実際に患者さんと触れ合ったり仕事内容を見学することにより、より将来の進路を前向きに考える機会になり貴重な体験ができたという意見が大半で、どの参加者も満足感で溢れ、笑顔が印象的でした。今後も医療職を目指す方たちを応援していきたいと思えます。



8/3

未来の医師へ「高校生セミナー」開催

8月3日、当院にて「医師を目指す高校生のためのセミナー」が行われました。このセミナーは、医師確保・医師不足の解消を目指し養父市と当院が協力し取り組む「やぶ医者プロジェクト事業」で企画されたもので、平成23年度より実施されています。

当院の後藤葉一院長、研修医の山本節医師・草壁明日香医師による講話を聞いていただいた後、フリートークでは、医師を

目指すにあたっての勉強方法など、より身近な質問も投げかけられました。また、実際の医療現場をより身近に感じていただくため、病院施設の見学を行い、人形を使った気管挿管の体験など、普段ではなかなかできない経験をしていただきました。今回参加された皆さんが、一人でも多く自分の夢に向かって進まれることを心より願っています。

モデル人形を使用し
気管挿管の体験



医療の
スペシャリストが
伝授する

教えて！
健康コラム

ネズミの通り道にご用心！

副院長 外科 西田 勝浩



人の体の足の付け根で、しわになつている部分を鼠径部(そけいぶ)と呼びます(ビートたけしさんがやっていた「コマネチ」の部分ですね)。当院にはこの少し上、内側あたりが痛い、膨れるなどの訴えで、外来を訪れる患者さんがいます。鼠径ヘルニアと診断されることが多いです。

療法は手術で穴をふさぎます。当院では腹腔鏡下にお腹の中から修復する手術を主に行っています。では、どうしてこの部位に穴が開きやすいのでしょうか？この部位には男性では精子の通る精管や睾丸に行く血管、女性には子宮を固定する靱帯が通っていて、若干薄くなっています。高齢となり筋肉が弱つてきたり、壮年でもこの部位に負担がかかる仕事をしている方は鼠径ヘルニアになりやすいようです。特に男の人は生まれてくる前(胎児の頃)に、お腹の中に出てきた睾丸がこの部位を通って体の外に出て行きます。そこで、睾丸をネズミ(鼠)にたとえて、それが通る部位を鼠径部と言つたのです。みなさん、くれぐれもネズミの通り道にはご用心！

大切な命と向き合う勇気、行動に繋がる講習へ

総合診療科看護師 佐藤あゆ子



自分の目の前で人が倒れた時、大切な命と向き合う勇気を持ち、

なります。

5年前より県立村岡高校の生徒の皆さんと職員の方々を対象に、一次救命処置講習会を看護師3名で実施しています。目の前で人が倒れたとき、自分はどう行動したら良いのかということ、実際に人形やAEDを使用して学んでもらいます。初めは遠慮がちな生徒も、何度か繰り返していくうちに興味を持ち、質問をしたり、しっかりと声を出したりして、チームで動くようになります。



人形を使ったAED使用方法を学ぶ様子

何か一つでも行動が起これることに繋がる講習になればと活動を続けています。受講前は不安な面持ちだった生徒も、受講後には自信に満ちた表情になります。その姿が、また次も頑張ろうという私たちの活力に繋がっています。

いちばん近くで支える
私たち看護師からの声

かんばん 看護部 だより

当院のスタッフは病院内だけでなく、地域に向いて医療の知識を広めるためにも日々活動しています。先日県立村岡高校の一次救命処置講習会に参加した救急看護師からの声です。

南但訪問看護センター 精神訪問看護はじめました

平成30年5月から、通常の訪問看護に加え、「精神訪問看護」を開始しました。「精神訪問看護」とは、認知症などの精神疾患を抱えた患者さんが、安心して在宅生活を送れるよう、看護師やリハビリスタッフがご自宅に訪問し、本人・ご家族に日常生活上の助言や援助を行う訪問看護です。ご関心のある方は、ぜひ一度当センターまでご相談下さい。

【連絡先】南但訪問看護センター TEL 079-662-3344

病床数の削減について —コンパクトかつ高機能で地域に密着した病院運営を行うために—

当院はこれまで、許可病床420床（一般358床・療養55床・結核7床）で運営を行ってまいりましたが、このたび、平成30年10月1日より380床（一般338床・療養35床・結核7床）で運用することとなりました。この決定に至ったのは、①病床稼働率が減少傾向にある中、より効率的な病床運用を図るため、②平成30年4月診療報酬改定により、400床以上の「地域医療支援病院」で義務化された「紹介状のない初診患者からの5000円以上の初診時選定療養費の徴収」を回避するため、という2点が主な理由です。

病床数はやや少なくなりますが、急性期から慢性期までさまざまな医療機能やサービスを揃え、コンパクトながらも高機能で地域に密着した病院運営を行うことができると考えています。

職員一同、今後もさらに充実した医療サービスを提供していく所存ですので、地域住民の皆様には、どうぞご理解をいただき、安心して八鹿病院をご利用くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

医師異動のお知らせ

【新任医師】

平成30年10月1日～
よろしく申し上げます



【外科】
かわもと たつや
河本 達也



【放射線科】
まきしま じゅん
牧嶋 惇

【退任医師】平成30年9月30日付
お世話になりありがとうございました

【外科】光井 卓 【放射線科】鎌田 裕司

胃カメラ検査ご利用ください

胃腸科（検診外来）の診察日が
増えました（月・金曜日）。検診
後の胃の精密検査が必要な方は
ぜひご利用下さい。

人間ドックは、現在のところ、
来年（2019年）2～3月頃の胃
カメラの予約枠が空いております
のでご利用下さい。

医師を目指す皆さんへ

医師修学資金貸与制度 利用者募集します！

平成30年度
追加募集

&
平成31年度
新規募集

【受付期間】平成30年
11月12日（月）-12月10日（月）必着

【試験日】12月26日（水）（午後の予定）

※詳しくは当院ホームページにてご確認ください。ご応募お待ちしております。【お問い合わせ・お申し込み】人事会計課

あなたにぴったりの選べるプランで
皆さんをサポートします

【基本プラン】

医師修学資金貸与制度

総額 **1,152万円**

条件つきで**全額返済免除**

月額15万円(1-4年)月額18万円(5-6年)

【選べる2つの追加プラン】

入学時特別修学資金貸与制度

上限額 **1,000万円**

条件つきで**全額返済免除**

医師修学一次資金貸与制度

上限額 **1,000万円**

無利息で借入れ可能 ※返済免除規定なし

※選べる追加プランは、自由に組み合わせて利用できます。基本プランのみの利用も可能です。

最大
3,152万円
のサポートが可能！

入学金や授業料など
お役立てください！

発行
編集



公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1
TEL **079-662-5555**(代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

いいね！お願いします

